

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	環境部 (廃棄物処理課)																
2 協議事項 (案件名)	西部清掃工場の更新について																
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部清掃工場の運営維持管理契約が2024年1月に終了 2017年度サマーレビューにて、現工場の運営の5年延長と、2029年度稼働を目的に更新用地へ更新工場を整備する方針を決定 2020年度副市長レビューにて更新工場整備の方針を再確認 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新基本計画策定及びPFI等導入可能性調査の実施(2021年度～2022年度) 生活環境影響調査の実施(2022年度～2023年度) PFI等審査委員会の開催(2022年度～2024年度) 																
4 検討経過・課題	<p>【検討経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新基本計画等にて、以下のとおり更新工場の事業内容を検討 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業方式 DBO方式 (2) 施設規模 417t/日(うち下水汚泥18t/日) ※139t/日×3炉 (3) 処理方式 ストーカ式またはシャフト炉式 (4) 運営期間 2029～2048年度【20年間】 (5) コンセプト ToBiOへのエネルギー(電気・蒸気)供給の継続 ごみ処理に伴う二酸化炭素排出量の削減 副生成物の全量資源化による最終処分場の延命化 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理は市民生活に直結することから、安定的かつ安全な遂行が必要とされる一方、清掃工場の整備・運営には長期的に多額の費用を要するため、更新工場は長期的に安定運転が可能で経済性に優れた施設とすることが求められる。 																
5-1 方向性の提案(目指すべき姿)	<p>以下の方向性により西部清掃工場の更新事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃工場の主要設備・機器の耐用年数をもとに運営期間(20年間)を設定 民活手法の導入による民間ノウハウの発揮と事業費の最小化 																
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項(妥当性、必要性、有効性など)	<ul style="list-style-type: none"> 更新基本計画等に基づき更新工場整備に関する事業者公募を実施 <p>【スケジュール】</p> <table border="0"> <tr> <td>2023年</td> <td>12月</td> <td>実施方針公表</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>4月</td> <td>事業者公募</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月</td> <td>落札者決定(総合評価落札方式)</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>2月</td> <td>本契約締結</td> </tr> <tr> <td>2029年</td> <td>4月</td> <td>ごみ受け入れ開始(～2048年度)</td> </tr> </table>		2023年	12月	実施方針公表	2024年	4月	事業者公募		12月	落札者決定(総合評価落札方式)	2025年	2月	本契約締結	2029年	4月	ごみ受け入れ開始(～2048年度)
2023年	12月	実施方針公表															
2024年	4月	事業者公募															
	12月	落札者決定(総合評価落札方式)															
2025年	2月	本契約締結															
2029年	4月	ごみ受け入れ開始(～2048年度)															
6 結果	<p>■提案どおり進める</p> <p><input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p>															
7 その他																	